

令和5年度 事業計画書

2023 Business plan

基本方針

運営方針

事業所マップ

実施事業一覧

施設別事業計画

年間研修計画

事業別実施目標



INDEX

I 基本方針	2
II 運営方針	3
III 事業所マップ	8
IV 実施事業一覧	9
V 施設別事業計画	
1. 特別養護老人ホーム美原荘 軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘 特別養護老人ホーム美原荘「すごうの郷」	11
2. 特別養護老人ホーム春日丘荘 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」	13
3. 特別養護老人ホーム四條畷荘 養護老人ホーム四條畷荘	15
4. 特別養護老人ホーム光明荘	17
5. 特別養護老人ホーム高槻荘	19
6. 特別養護老人ホーム白島荘	21
7. 東大阪養護老人ホーム	23
8. 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか 特別養護老人ホーム永寿園とよなか	25
9. 軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘 特別養護老人ホーム豊寿荘	27
10. 軽費老人ホーム万寿荘	29
11. 軽費老人ホーム河南荘	30
12. 障がい者支援施設みずほおおぞら 特別養護老人ホームみずほおおぞら	31
13. 介護老人保健施設かがやき	33
14. OSJ人材育成センター	35
15. 事務局	37
VI 年間研修計画	39
VII 事業別実施目標	41

基本方針

昨年度は、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が猛威を振るう中で、日々その対応に迫られましたが、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行の方針が決定しており、「withコロナ」の考え方の中で利用者の皆様の健康を守りながらサービス内容の充実を図るため、法人全体の対応についての方針を速やかに定めてまいります。

また、不安定な世界情勢による物価の高騰など、法人経営に大きく影響するリスクは今後も継続すると考えられることから、きめ細やかな事業管理はもちろんのこと、様々な情報収集に努めながら適切な経営判断を行ってまいります。

全国的に福祉業界の人材不足が深刻化するなか、当法人においても人材確保・定着については重要な課題として、第二期中長期経営計画の各実施計画に位置付けました。SNSなどを活用した情報発信力の強化、副業制度の充実などによる魅力の向上、ラダー教育制度導入による働きがいの向上、そしてモチベーションを高めるための心理的安全性の高い組織づくり等、引き続きその内容について検討し実施してまいります。

また、OSJ人材育成センターが中心となり特定技能外国人の採用ルートとその人材育成方法の確立、OSJとよなかケアスクールの令和6年度に向けた専修学校化による外国人留学生の受け入れへの準備を進め、当法人内の人材確保はもちろんのこと、府内の福祉人材の創出に対しても寄与できるよう取り組みを進めてまいります。

令和5年度は次期の介護報酬、医療報酬の同時改定を見据えた事業展開を行うための大切な年度となります。各施設においては、ICT化を更に推し進めながら、業務効率化のみならず新たにサービスを変革させるためのDX化についても検討してまいります。また、より一層科学的介護の理解を深め、PDCAサイクルを確立し、個別ケアと自立支援の促進という目的に沿った高い水準でのサービスを提供するとともに、他職種連携による医療的ケアの充実についても積極的に取り組んでまいります。

最後になりますが、長期に及ぶコロナ禍の中で様々な関係が疎遠になってしまった今だからこそ、人と人との繋がりが大切になってきます。私たちはその繋がりを大切にしながら、複雑化・多様化する地域の福祉ニーズを一つ一つ拾い上げ、地域における公益的な取り組みを迅速かつ丁寧に実施していくことで社会福祉法人としての責務を果たしてまいります。令和5年度も、職員一人ひとりが社会福祉法人の職員であることを自負し、地域とともに躍動しそれぞれの役割を果たしてまいりますので、引き続き、皆様方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

理事長 行松 英明

令和5年度事業計画
運営方針

<職員の可能性を高める>

1. 職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

- (1) 中途採用者や少数職種に対する、計画的な人材育成プログラムの確立および人材育成担当者を中心とした教育体制の運用
- (2) 職階におけるラダー教育システムの運用および効果検証の実施
- (3) 次世代の管理者になり得る人材に対する積極的な研修機会の提供



2. 働きやすい環境作りに向けた取り組みの推進

- (1) ご利用者の安心安全及び職員の負担軽減を目的としたノーリフトケア推進に向けた福祉機器並びに業務効率化を目的としたICT機器への積極的投資
- (2) 健康経営優良法人の認証取得
- (3) 仕事と生活が両立しやすいための短時間勤務制度の見直しやリフレッシュ休暇新設等の検討
- (4) 職員へのメンタルヘルスケアの充実、時間外労働の更なる削減等を含めた職員の定着に向けた取り組みの実施

3. 職員の働きがいを高め、成長を実感できる取り組みの推進

- (1) 法人理念『Mission・Vision・Value』の浸透につながるための取組み
- (2) 情報のタイムリーな共有・業務省力化を目的としたグループウェアおよびワークフローシステムの全施設展開
- (3) 法人内外に訴求できるSNSツールのより一層の活用およびOSJ公式Tiktokerによる、法人の魅力の定期的な発信
- (4) 人材育成やスキル向上につながる法人内における副業制度の運用開始と法人外での副業を可能とする 制度の検討



4. 「地域からの雇用」を重視した人材確保のための取り組みの推進

- (1) ブロック・エリアごとの雇用促進チームや地域の関連機関と連携し、職員一丸による地域からの雇用を生み出すための取り組みの一層の促進
- (2) 更なる業務の細分化を進めることによる新たな雇用の創出
- (3) 訪問介護事業を担う人材の確保・定着に向けた施設勤務職員との人材交流等の取り組みの推進

5. 外国介護人材の雇用促進のための取り組みの推進

- (1) 介護福祉士養成施設の令和6年度専修学校化に向けた準備並びに、就学と就労が更に両立しやすいカリキュラムについての検討
- (2) 外国介護人材が定着するための受入マニュアルをもとに、母国の文化や習慣、常識などを踏まえた研修プログラムの作成・運用
- (3) 外国人材育成担当者の専任配置
- (4) 高い介護技術・知識を持った特定技能外国人の受け入れのため、現地関係機関との連携協定に基づくインターシップの導入、事業団職員による介護技術指導等の実施



<法人の可能性を高める>

1. 在宅サービス事業等の強化のための取り組みの推進

- (1) 通所介護事業の経営安定化に向けた、地域で選ばれるためのサービス内容への見直しと実施
- (2) 在宅における看取りを推進するための診療所機能及び訪問看護事業、看護小規模多機能型居宅介護事業所の運営や連携について検討・実施
- (3) 多様なニーズに応えるための制度外サービスの実施が進めやすくなるよう、NPO法人(なにわ和楽日の会)との更なる連携推進
- (4) 障がい福祉サービス分野における、医療的ケア児・者へのサービス提供の検討・実施

2. 効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

- (1) 福祉分野において、更なる優位性を確保するためのDX化に向けた、各施設におけるICT機器導入のためのWi-Fi環境の充実など、基本的なインフラ環境の充実
- (2) 職員へのICTリテラシー(知識)向上に向けた研修等の実施
- (3) 科学的介護の推進及び、職員の業務負担軽減のための機器の計画的な導入

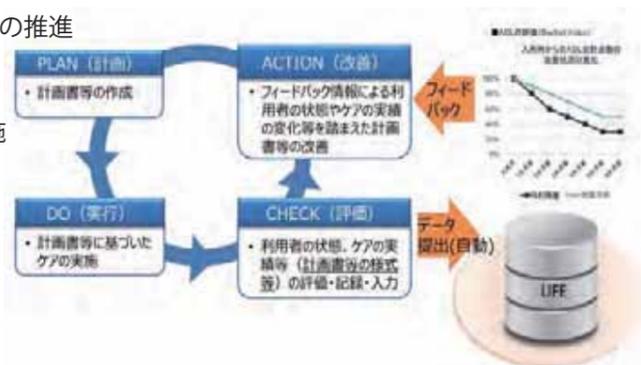


3. 施設ごとの中期経営計画の策定と整備計画の実行

- (1) 法人全体の施設整備・保全計画を含めた長期収支計画の策定
- (2) 万寿荘の大規模改修等工事実施に向けた実施設計の完成
- (3) 河南荘の今後の在り方についての方針の決定
- (4) よりそいの丘プロジェクトについて、令和4年度に定めたマスタープランに基づく、計画的な事業展開

4. 質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

- (1) 令和6年度の報酬改定を視野に入れた自立支援につながるサービス内容への更新
- (2) LIFE (科学的介護情報システム) の有効活用を含めたアウトカム評価の視点に基づいた、より一層のデータ化、ICT化によるサービスの可視化
- (3) CANDy (日常会話式認知機能評価) の更なる活用や認知症事例集を活用した事例検討の実施など、認知症ケアの質の向上に向けた取り組みの実践及び成果物の外部への発信
- (4) 他職種連携による医療的ケア充実に向けた取り組みの推進
- (5) 在宅復帰を含む在宅生活を実現するための医療系サービスの質の向上に向けた取り組みの実施
- (6) 他法人や企業との連携による、新たな発想や知識の蓄積と福祉機器の開発及び研究
- (7) 企業主導型保育事業のサービスの質のより一層の向上に向けた実践と新たな児童系サービスの検討



5. 多様化するリスクに対応できる体制構築

- (1) 社会情勢の変化に伴う厳しい外的要因を踏まえた、全員参加型経営の実践
- (2) 新型コロナウイルスの5類への移行についての法人の対応方針の明確化
- (3) 新たな感染リスクへの対応についての標準化を図るための取り組みの推進
- (4) 災害時の食料・備品の備蓄量の見直しと、必要な電力量が確保できる自家発電機の計画的導入
- (5) 地元自治会や他法人との災害連携・協定の拡大
- (6) 有事に備えた災害時職員参集体制の確立および訓練の実施
- (7) 福祉避難所の指定の促進

新型コロナウイルス「2類相当」と「5類」の違い
～感染症法上の位置付け～

	新型コロナ (2類相当)	季節性インフルエンザなど (5類)
入院勧告	できる	できない
就業制限	できる	できない
患者・濃厚接触者の行動制限	できる	できない
ワクチン・医療費	公費負担	自己負担も
医療の受け入れ	発熱外来や指定医療機関	一般医療機関
感染者の把握	全数把握 (簡略化)	定点または全数把握

<地域の可能性を高める>

1. 地域における公益的な取り組みのより一層の推進

- (1) 次代を担う子ども世代の支援のための地域における公益的な取り組みの実践
- (2) より地域に根差した公益的な取り組みを推進するための、他法人との連携・協働の取り組みの推進と専従職員の配置など体制の強化

2. 重層的支援体制構築の一翼を担うための取り組みの推進

- (1) ひきこもりの状態にある人など、自ら支援につながる事が難しい人などに対し、活動や中間的就労を行うための場の提供
- (2) 属性や世代に関わらず複雑化・複合化した課題に対して、ワンストップで相談を受けることができる機能を設けると共に、課題解決に向けた法人内外の多機関協働と連携を行う仕組みづくりの推進
- (3) 多様な要支援者に対するセーフティネットを担うための具体的な付加サービスの検討及び試行



3. 地域の課題解決力を高めるための取り組みの推進

- (1) よりそいの丘プロジェクトにおいて、具体的に産官学連携を図るための基本計画及び実施計画の策定
- (2) 各施設が行政・地域ネットワーク機関との密な意見交換を行い、情報を基に自宅を訪問するなど積極的なアウトリーチ手法を駆使することで、把握した課題に対して、地域が主体として課題解決につなげていくための具体的な取り組みの推進

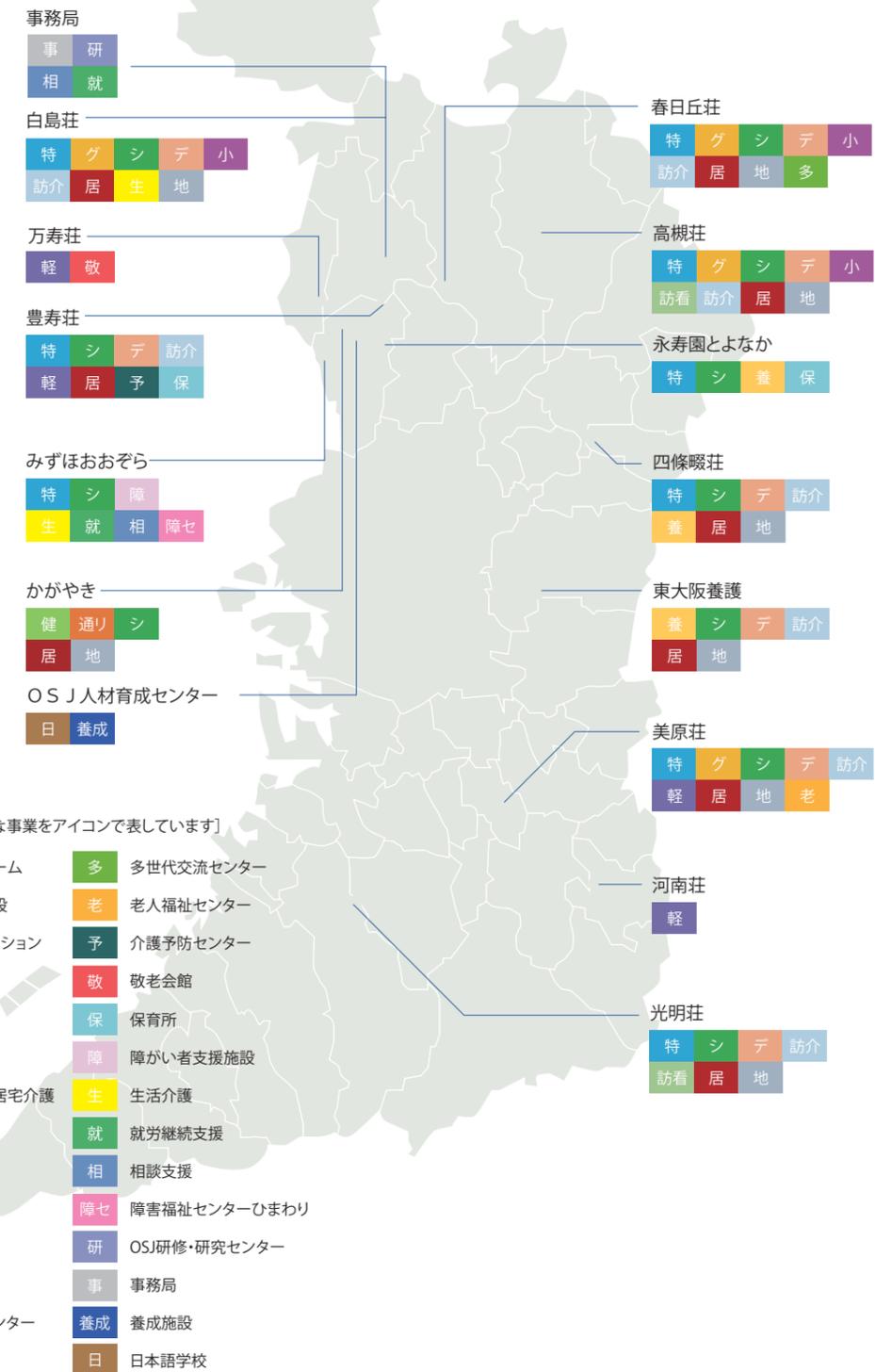


4. 他法人や企業との連携・協働による新たな取り組みの推進

- (1) 他産業と連携することで実現可能となる、要支援者に対する具体的な取り組み内容の検討、実施
- (2) 企業との共同による、真に必要とされる福祉用具等の開発

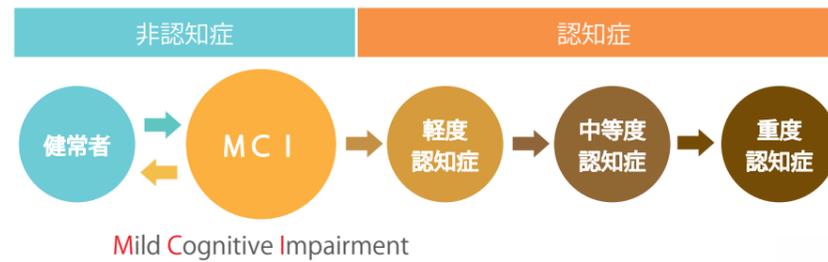
MAP

事業所マップ



5. 地域の認知症高齢者の課題への取り組みの推進

- (1) MCI(軽度認知障害)を含む認知症の早期発見・対応に資する取り組みについて、OSJ研修・研究センターを中心とした大学等との連携・研究の実践
- (2) 行政の認知症高齢者支援への取り組みに積極的に参画し、地域における公益的な取り組みを中心とした新たな支援やサービスの創出



Mission —法人の使命—

私たちはつながるすべての人の夢を応援し、
すべての人の幸せを支え続けます

創立50年を迎えた私たち社会福祉法人大阪府社会福祉事業団は、これまで、いま、そして、これからも、つながるすべての職員とすべての地域の方々の夢を応援し、幸せを支え続けることを使命に存在していきます。

OSJ Vision 2031

可能性を高め、地域とともに躍動する法人へ

「可能性」には潜在的な発展性という意味が含まれています。
私たち大阪府社会福祉事業団は、職員の持つ可能性を高め、法人の持つ可能性を高め、そして地域の持つ可能性を高めていくために、これからもたゆまぬ取り組みを続け、地域共生社会の実現のため地域とともに躍動できる社会福祉法人を目指します。

実施事業一覧

	高齢者福祉サービス			地域密着型サービス(定員)	障害福祉サービス	その他(定員)
	施設サービス(定員)	居宅サービス(定員)	訪問系サービス・日中活動系サービス 居住系サービス・相談支援 施設入所支援(定員)			
美原荘	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(120名) 軽費老人ホーム(70名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援 訪問介護 通所介護(42名) 短期入所生活介護(美原20名・すこう10名) 特定施設入居者生活介護(軽費定員の内30名) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型特別養護老人ホーム(29名) 認知症対応型共同生活介護(18名) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 生活介護(基準該当) 移動支援 短期入所 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 老人福祉センター・総合福祉会館 福祉有償運送 シルバーハウジング生活援助員派遣事業 介護職員初任者研修事業 	
春日丘荘	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(120名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援(春日丘・南茨木) 訪問介護 通所介護(春日丘40名・沢池45名日曜のみ30名・南茨木45名日曜のみ30名) 短期入所生活介護(春日丘12名・彩の家11名) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型特別養護老人ホーム(29名) 認知症対応型通所介護(春日丘GH3名・彩の家8名) 小規模多機能型居宅介護(登録27名) 認知症対応型共同生活介護(9名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 多世代交流センター(沢池・南茨木) 在宅介護支援センター 福祉有償運送 介護職員初任者研修事業 	
四條畷荘	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(120名) 養護老人ホーム(50名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援 訪問介護 通所介護(35名) 短期入所生活介護(10名) 特定施設入居者生活介護(養護定員の内20名) 		<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 移動支援 通学支援 短期入所 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 福祉有償運送 介護職員初任者研修事業 	
光明荘	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(120名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援 訪問介護 訪問看護 通所介護(35名) 訪問入浴 短期入所生活介護(20名) 		<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 生活介護(基準該当) 短期入所 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 認知症機能強化型地域包括支援センター 福祉有償運送 在宅介護支援センター 介護職員初任者研修事業 	
高槻荘	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(100名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援(高槻荘・桃園) 訪問介護(郡家・桃園) 通所介護(40名) 訪問看護 短期入所生活介護(10名) 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症対応型通所介護(12名) 小規模多機能型居宅介護(登録29名) 認知症対応型共同生活介護(18名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 短期入所 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 介護職員初任者研修事業 配食サービス 	
白島荘	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(90名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援 訪問介護 通所介護(28名) 短期入所生活介護(10名) 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症対応型通所介護(3名) 小規模多機能型居宅介護(登録27名) 認知症対応型共同生活介護(9名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 生活介護(20名) 地域活動支援(10名) 特定相談支援 障がい児相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 福祉有償運送 	
東大阪養護	<ul style="list-style-type: none"> 養護老人ホーム(150名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援 訪問介護 特定施設入居者生活介護(養護定員の内70名) 	<ul style="list-style-type: none"> 通所介護(定員18名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護 重度訪問介護 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 福祉有償運送 東大阪市生活支援事業(短期宿泊) 	
永寿園とよなか	<ul style="list-style-type: none"> 養護老人ホーム(70名) 	<ul style="list-style-type: none"> 短期入所生活介護(11名) 特定施設入居者生活介護(養護定員の内30名) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型特別養護老人ホーム(29名) 		<ul style="list-style-type: none"> 養護短期入所:養護定員とは別途定員5名 企業主導型保育(12名) 	
豊寿荘	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム(50名) 軽費老人ホーム(100名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援(ゆたか・ひがしまち・ねいろ・つむぎ) 訪問介護(ゆたか・ひがしまち) 通所介護(ゆたか40名・ねいろ45名・かなで45名・ひだまり45名) 短期入所生活介護(10名) 特定施設入居者生活介護(軽費定員の内50名) 通所型サービスA(ゆい10名) 		<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護(ゆたか・ひがしまち) 重度訪問介護(ゆたか・ひがしまち) 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉有償運送 訪問リハビリテーション 介護予防センター(原田、服部、千里、柴原、庄内、高川) シルバーハウジング生活援助員派遣事業 企業主導型保育(19名) 介護職員初任者研修事業 	
万寿荘	<ul style="list-style-type: none"> 軽費老人ホーム(50名) 				<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センター(敬老会館) 生活支援体制整備事業 	
河南荘	<ul style="list-style-type: none"> 軽費老人ホーム(90名) 				<ul style="list-style-type: none"> 福祉有償運送 	
みずほおおぞら		<ul style="list-style-type: none"> 短期入所生活介護(11名) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型特別養護老人ホーム(29名) 	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護(みずほ40名・みのり40名) 就労継続支援A型(10名) 就労継続支援B型(25名) 施設入所支援(21名) 短期入所(10名) 日中一時支援(10名) 特定相談支援 一般相談支援 障がい児相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センター 障害福祉センター運営業務 	
かがやき	<ul style="list-style-type: none"> 介護老人保健施設(100名) 	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援 短期入所療養介護 通所リハビリテーション(45名) 			<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 	
OSJ人材育成センター					<ul style="list-style-type: none"> OSJとよなかケアスクール(豊中市内人材育成事業) OSJ日本語アカデミーとよなか 登録支援機関(外国人雇用推進事業) 有料職業紹介事業 	
OSJ工房よりそいの丘					<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援A型(10名) 就労継続支援B型(20名) 特定相談支援 障がい児相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> 委託相談支援事業



施設別事業計画

1

美原荘



運営方針

『困ったときの美原荘』であり続けるために、私たちが出来ることを積極的に

- Act.1 生産性の向上 ～質の高いサービスを提供するために～
- Act.2 DX化、タスクシフティングの促進 ～必要な人員を安定的に供給するために～
- Act.3 ご利用者対応力の強化 ～複雑化した介護ニーズに応えるために～



重点項目

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

すどうの郷において、ネットワークカメラを活用し、介護負担軽減・介護事故防止に取り組み、サービスの向上につなげます。また、グループホームにおいて、会話型ロボットの活用によるロボットセラピーを取り入れ、認知症高齢者の孤独感・不安感の緩和に取り組みます。

「地域からの雇用」を重視した人材確保のための取り組みの推進

特養において介護職員の業務明確化と役割分担の整理を行い、介護業務全体の流れを再構築し、環境整備・物品補充・シーツ交換・配膳下膳・消毒・換気など補助業務を介護補助職員が担当する体制を築きます。

在宅サービス事業等の強化のための取り組みの推進

デイサービスにおいて、在宅生活での『出来る』に着目した支援内容をプランニングし、在宅生活を送る中で成果を実感していただけるサービスを提供します。



質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

和風荘において、Barthel Index による ADL 評価、TUG による動作評価、骨密度や筋肉量測定による運動器評価、LIFE を用いた科学的な評価を基に、個々の能力を数値化し、目標達成に向けた機能訓練・栄養改善を実施します。



リスキリング ～デジタル時代の人材戦略～

介護を取り巻く環境の大幅な変化に適応するため、Z世代を中心にDX教育を施し、事業所内でエバンジェリストとしての活動を進めます。 ※リスキリング：職業能力の再開発・再教育 ※エバンジェリスト：ITの技術を伝えるスペシャリスト

達成目標 必要とする人材像、スキルを明確にし、教育プログラムを作成します。対象者を選抜し、教育プログラムを受講、併行してエバンジェリストとしての活動を進めます。

グループウェア、ワークフローなどを活用し、職員のDXリテラシーを高め、紙媒体での情報共有・文書決裁からの脱却を図ります。

達成目標 グループウェア等のアプリを全職員が活用し、会議録・報告書類・申し送りをアプリ上で実施します。

地域における複雑化する介護ニーズへの対応力を鍛え、将来に備える。

定期巡回の夜間対応力を高めるため、美原荘、和風荘が連携し、夜間派遣体制の強化に努めます。

- 達成目標**
- ① 施設職員の夜間派遣体制を整えます。
 - ② 和風荘の一般ご利用者で、夜間サービスが必要な方の支援をプランニングします。
 - ③ ②のご利用者に対し、施設職員の夜間派遣を行います。



地域公益事業

街角フレイル予防事業 『美原 ZAP (ミハザップ)』の実施

引きこもりがちな高齢者を中心に、日常生活におけるフレイル予防プログラムの提案や定期的な体力測定などの集いの機会を提供し、フレイル予防と社会参加の機会を提供します。また、集いの機会を提供する際は、りんりんバス事業を活用し、遠方の方であっても参加できるよう支援します。

取組効果

20名以上の高齢者が参加し、生活機能を維持することを目標に取り組みます。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム美原荘(定員120名)
- 短期入所生活介護(定員20名)
- 軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘(定員70名)
- 特別養護老人ホーム美原荘「すどうの郷」(定員29名)
- 短期入所生活介護(定員10名)
- 美原荘グループホーム「すどうの郷」(定員18名)
- 美原荘デイサービスセンター(定員42名)
- 美原荘居宅介護事業所
- 特別養護老人ホーム美原荘診療所
- 美原荘訪問介護事業所
- 堺定期巡回随時対応ケアサポート
- (堺市委託事業)
- 美原第1地域包括支援センター
- 堺市立美原老人福祉センター、美原総合福祉会館
- 堺市立東老人福祉センター
- 堺市立北老人福祉センター
- シルバーハウジングLSA(堺市高齢者居宅生活支援業務)

その人が望む
暮らしの実現へ

施設別事業計画

2

春日丘荘



運営方針

「その人らしい暮らしを届けたい」

春日丘荘グループでご利用者の思いを尊重し、繋がり続ける支援体制を「相談」「社会参加」「地域公益事業」の3つの軸を柱に実施することで、地域包括ケアシステムの深化を図ります。

重点項目



職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

次世代リーダーを中心にリーダーシップ育成のため、目標を数値化した客観的視点を獲得する研修を行います。

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

導入されたICT機器（インカム・D-free・ネオスクエア等）の効果を多面的に検証したうえで、様々な状況を踏まえた効率的・効果的な人材配置を行います。

多様化するリスクに対応できる体制の構築

全事業にて職員がBCPへの理解をより一層深め、活用できる取り組みを進めます。被災時でも生活継続を目的とした地域の協力機関、他事業所と備蓄在庫を共有し連携していきます。

質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

入院者減少を図るため、各種部署連携による医療的根拠に基づいた尿路感染症、誤嚥性肺炎等の予防対策を強化します。また、診療・介護報酬改定に向けてLIFEの情報活用を進めます。



ステップアップ事業

新たな人材の発掘へ向けた取り組み

SNSの活用を中心に、春日丘荘の魅力をPRし新たな働き方や多世代をターゲットとした雇用創出を行います。令和4年度に連携を図れた各種関係機関を通じ、人材確保に繋がります。

達成目標 年度中の雇用継続率のアップを目指します。



地域公益事業

送迎支援等による閉じこもり対策の実施

地域のニーズをより一層汲み上げ、すでに地域に定着している「かるがも号」以外の運行路を新たに開拓し、様々な地域の取り組みへの外出支援を行います。

取組効果

各関係機関と連携し、外出支援を行うことで、地域の活性化の一翼を担うことができます。

らじ丘体操を含めた地域住民との顔の見える関係を継続します。またCSW等と連携し、小中学校を含めた地域のニーズに耳を傾けながら新たな居場所づくりに貢献します。

取組効果

長期的に継続することにより、ヤングケアラー等への支援を行うことができます。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム春日丘荘(定員120名)
- 短期入所生活介護(定員12名)
- 特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」(定員29名)
- 短期入所生活介護(定員11名)
- 春日丘荘デイサービスセンター(定員40名)
- 沢池老人デイサービスセンター(定員45名)
- 南茨木デイサービスセンター(定員45名)
- 春日丘荘ヘルパーステーション
- 春日丘荘グループホームデイサービス(定員3名)
- デイサービスセンター春日丘荘「彩の家」(定員8名)
- 春日丘荘居宅介護支援事業所
- 南茨木居宅介護支援事業所
- 小規模多機能センター春日丘荘「彩の家」(定員27名)
- 春日丘荘グループホーム(定員9名)
- 特別養護老人ホーム春日丘荘診療所(茨木市委託事業)
- (沢池・西)地域包括支援センター
- (玉櫛・水尾)地域包括支援センター
- (天王・東奈良)地域包括支援センター
- 茨木市沢池多世代交流センター
- 茨木市南茨木多世代交流センター
- 天王・東奈良いきいき相談支援ネットセンターCSW

～地域の皆様に信頼と安心を～
 たくさんの笑顔に
 出会いたい

施設別事業計画

3

四條畷荘



運営方針

『その人らしさ』に着目した生活と地域力強化への一助

個別ケアの質をさらに向上させるため、ACPの充実を図り、人生観、価値観、希望を十分に反映し、自立支援を促すサービス提供を実施します。

業務内容を細分化し、職員の個性や経験を大切に働き方を見出します。

住み慣れた場所で生活が継続できるよう地域福祉の充実に寄与します。



重点項目

質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

ACPの充実を図り、人生観、価値観、希望を十分に反映したサービス提供を実施し、さらに個別ケアの質を高めます。

施設サービス、在宅サービスを問わず、CANDy（日常会話式認知機能評価）を活用するとともに、認知症介護実践者研修修了者を5名出し、認知症ケアの事例検討からケアの充実を図ります。

LIFEのフィードバックを活用し、より充実した個別ケアを実践するために、医師を含めた多職種、ご家族が連携し重度化の防止や自立支援に取り組みます。

デイサービスセンターにおいて、企業のタイアップや内職的な要素を取り入れ継続的に報酬を得るなどご利用者にとって役割を再確認、達成感をもつことのできる場を提供します。

職員定着に向けた取り組みの推進

業務内容を細分化し、職員の個性や経験を大切に働き方を見出し、就労継続に繋がります。

ラインワークス等の情報共有ツールを活用するとともに、職員同士のコミュニケーション、気兼ねのない意見交換、教育機会を充実させ、働きやすい職場環境を実現します。

リーダー職員向けの養成研修を実施し、経営の視点、企画や実践力を養い、人材の育成に取り組みます。

看取り介護の拡張

診療所機能を最大限活かし、養護老人ホームでの看取りニーズに応えていきます。



介護ロボット、ICT機器等の活用

見守り系介護機器を活用し、24Hシートの充実、リスク分析に取り組み、職員の気づきの力を最大限発揮し、ケアプラン内容を充実させます。

機能訓練指導員を中心としてノーリフトケアを積極的に推進し、統一した方法による介助となるよう取り組みます。

『四條畷荘インフルエンサー』を選任し、雇用促進とご家族への活動報告、地域への魅力の発信を充実させます。



続・ごっくんプロジェクトの推進

『ごっくんマイスター』によるシリーズ化研修を開催し、経口摂取維持・改善による楽しい食事を実現させます。

達成目標 研修は毎月実施し、誤嚥性肺炎の発症を減少させます。また、胃瘻造設者の経口摂取を実現します。

令和4年度に作成した対象となる利用者選定のフローチャートを用い、在宅サービスご利用者へも経口摂取維持・改善に取り組むため、ご家族、医師、介護支援専門員等との連携を強化します。

達成目標 歯科クリニックと協働し、『ごっくんマイスター』を10名育成します。

地域 公益事業

支え愛プロジェクト@なわそう



地域住民が支え合い、住み慣れた場所で末永く暮らすため、いっづくステーション「よるか」を拠点に地域住民が主体となって活動する『なわそう支え愛チーム』を発足させます。

『なわそう支え愛チーム』に対し、認知症勉強会や活動内容等の講習をシリーズ化して開催し、支え合う意義を学ぶ機会を提供します。

地域座談会を開催して地域ニーズを確認し、ヤングケアラーや生活困窮者対応を含めたアウトリーチ活動に繋がります。

取組効果

暖かみのあるまちづくりの一助となり、地域力が強化され、共助への意識が向上されるものと考えます。職員が地域住民との関わりの中から、ニーズに沿ったサービス提供をすることができるようになります。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム四條畷荘(定員120名)
- 短期入所生活介護(定員10名)
- 養護老人ホーム四條畷荘(定員50名)
- 四條畷荘デイサービスセンターほほえみ(定員37名)
- 四條畷荘訪問介護事業所「ヘルパーステーションほほえみ」(居宅介護・重度訪問介護事業含む)

- 四條畷荘居宅介護支援事業所「ほほえみ」
- 老人ホーム四條畷荘診療所
- 福祉有償運送サービス
- 四條畷荘いっづくステーション「よるか」
(くすのき広域連合委託事業)
- 四條畷第2地域包括支援センター



光明荘



運営方針

ACP（人生会議）を推進、「その人らしさ」に寄り添うケアを提供する



オール光明荘で、ACP の理念を実践し、その人の思い、ご家族の思い、サービスの可能性をコーディネートし、パーソナリティの維持をサポートします。

施設においては、ご入居者・ご家族の生活および終末期への思いをより深く、ケアプラン会議の場で共有・確認し、パーソナリティ維持を目指した施設サービスを実践します。

在宅サービスでは、ご利用者やご利用者家族、地域の住民に向けて ACP の概念を知ってもらう機会をつくります。

重点項目

職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

資格取得を目指す職員への勉強会を開催し、職員一人ひとりのステップアップを支援します。
職員の健康増進のため、食生活改善アプリの活用を推奨するとともに、月に1回職員の運動クラブを開催します。



質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

ノーリフトケアを進めるための推進担当者を選定し、コーディネーター研修の受講、推進計画の策定と実務を進めます。
小グループ化を目指すための推進プランを策定し、人員体制やハード面改修について計画していきます。

デイサービスご利用者3～5名ピックアップし、ご本人の希望や住宅環境をふまえた上でプログラムを実施し、定期的な動画撮影及び体力測定を行う事で、有効性を評価します。またご家族に喜んで頂くだけでなく、居宅介護支援事業所へのわかりやすいPR方法を検討します。

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

インターネット環境及び社内LANの通信環境を強化（セキュリティ面含む）し、クラウドサーバーとのデータ処理時間の短縮による業務改善に努めます。
特養の1グループにおいて、眠りスキャン等見守り支援機器の試験的導入を進めます。
ご利用者の状態把握や事故リスクの軽減、在宅事業において、クラウドサービスを利用したペーパーレス化を推進するとともに、在宅勤務による事務の効率化を進めます。



ステップアップ事業

ACPの取り組みの充実と拡大

地域の皆さまが元気なうちから「人生を振り返り、自分を見つめ直し今後に生かす」機会をもってもらうため、ACPファシリテーター職員による、地域住民への啓発活動を行います。

達成目標 地域のサロン等において、ACPファシリテーター職員が講習会を開催し、エンディングノートを作成しながら理解を深める機会をつくります。

特養において、新規ご入居時より人生会議を開催し、利用者・家族・職員がACPの意義を共有して、ご入居者本人の自律した生活につなげます。

達成目標 新規ご入居者全員の人生会議の実施を目指します。



地域公益事業

コミュニティの活性化支援

子育てがしやすい町づくりをめざし、子供の生活困窮やヤングケアラーへの支援を行うとともに、既設の子ども食堂に人員派遣や協力を行い、他地区にも新たな子ども食堂等を開設します。
小学校の下校時の見守り活動に参加し、地元自治会や小学校との連携強化を図ります。

取組効果 コミュニティの活性化と社会資源としての施設機能の強化を目指します。子育てがしやすい地域づくりにつなげます。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム光明荘(定員120名)
- 短期入所生活介護(定員20名)
- 光明荘デイサービスセンター(定員35名)
- 光明荘ヘルパーステーション
- 光明荘居宅介護支援事業所
- 光明荘訪問入浴サービス
- 光明荘訪問看護ステーション
- 特別養護老人ホーム光明荘診療所
- 福祉有償運送
- (和泉市委託事業)
- 光明荘地域包括支援センター
- 光明荘認知症機能強化型地域包括支援センター
- 光明荘いきいきネット相談支援センター



施設別事業計画 5

高槻荘



運営方針

たくさんの方に「豊かで潤いのある生活」を届けたい

在宅サービスから施設サービスまで。

たくさんの方に笑顔とまごころのサービスを届け、豊かで潤いのある生活を実現します。



職員一人ひとりが仕事に誇りと自信を持ち、やりがいを感じることでできる豊かで潤いのある職場を実現します。

近隣地域の方々の豊かで潤いのある生活を実現するため、地域福祉の充実に積極的に寄与します。

重点項目

人を“育てたい”施設作り

新任職員から役職者まで。職員のキャリアステージに合わせた教育・OJT・研究それぞれの機会を作り、人を“育てたい”職場風土の醸成に取り組みます。

ご利用者が活躍するワーキングデイサービスの実現

認知症の有無に関わらず『ご利用者が活躍できるデイサービス』をテーマに“働く”ことができるワーキングプログラムの開発・実践に取り組みます。

ご入居者・ご利用者が活躍できるケアの実践

『認知症ケア × 役割＝自立支援のアップデート』をテーマに、役割感のある居場所・場面作り、役割を実感してもらうことができるケアの提供に取り組みます。

“腸内フローラアップチャレンジ”

ご入居者の腸内フローラの改善を目的としたプロバイオティクス食品の導入や機能訓練、介護記録の活用などにより、自然排便、免疫力の向上に取り組めます。



介護機器・ICT機器のプラットフォーム施設を目指して

各種介護機器やICT機器を積極的に導入し、その活用・効果を検証・発信することで、法人内での普及・推進を担うプラットフォーム施設としての役割を目指します。



重点項目

桃園三事業の円滑な事務所移転と地域展開

桃園三事業の事務所移転を機に、より一層地域に開かれた事業所として、関係機関と協働し、地域住民の相談窓口としての機能を発揮します。



施設内インターンシップ制度の創設

『広げる × 深める』をテーマに、事業所内の人事交流をととして、グループ内事業の相互理解を深めるとともに、職員のキャリアデザインを広げます。

達成目標

本制度を活用した対象者を3名輩出します。
本制度を活用した効果結果を対外的に情報発信します。



地域 公益事業

高槻荘マッチング事業

高槻荘サポーターを中心に、ボランティアから就労まで。コロナ禍において停滞していた、“生きがい・活躍の場”としての高槻荘の機能を再生します。
さらに、若年性認知症の方に焦点を当て、中間的就労から本就労へつなげます。

取組効果

本マッチング事業で、地域のコミュニティ・シニア層の活躍の機会を再生します。



実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム高槻荘(定員100名)
- 短期入所生活介護(定員10名)
- 特別養護老人ホーム高槻荘診療所
- グループホーム高槻荘「ゆらら」(定員18名)
- 小規模多機能センター高槻荘「ゆらら」(定員29名)
- 高槻荘郡家デイサービスセンター(定員40名)
- 高槻荘やすらぎデイサービスセンター(定員12名)
- 高槻荘居宅介護支援事業所
- 郡家・高槻荘ホームヘルパーステーション(居宅介護・重度訪問介護含む)
- 高槻荘ケアプランセンター桃園
- 高槻荘ホームヘルパーステーション桃園
- 高槻荘訪問看護ステーション桃園
- (高槻市委託事業)
- 郡家地域包括支援センター
- 配食サービス事業

施設別事業計画

施設別事業計画

「よりそう想い」
を大切に
たくさんの笑顔
を護りたい！

施設別事業計画

6

白島荘



運営方針



「私らしく」いられるところ～多様性が輝く場所

施設ご入居者、在宅サービスご利用者、地域住民の方、その他、白島荘グループに関わりのある全ての人それぞれが「私らしく」「私らしさ」を発揮できるよう、グループ全体で支援します。



重点項目

私らしいエンディングを迎える～看取りケアのさらなる充実を目指して

ご入居時に看取りケアに対するご入居者やご家族の意向を確認し、また生活背景や趣味・趣向を踏まえた上でエンディングプランを作成します。看取りケアを実施する際には、看取り委員会においてエンディングプランに沿ったより良い支援方法を検討し、「その人らしい最期」をサポートします。また、看取り後のカンファレンスの充実、ご家族へのアンケート結果等を元に、看取りケアのさらなる充実を図ります。



特養ご入居者に限らず、短期入所、小規模多機能、グループホームご利用者にも看取りケアを実施できるよう、ACP ファシリテーター養成研修の受講や主治医・診療所との連携による体制構築を検討します。

多様化するリスクに対応できる体制の構築

感染症や転倒などのリスクが発生した際には、困難なケースであっても再発防止を徹底するために、安全管理委員会及び各ユニット会議等において、よりアセスメントを重視した対応策を検討します。



在宅サービス事業の強化のための取り組み

生活介護事業所「フレンドカラー」において、強度行動障害の方や地域移行支援の対象者の方などを積極的に受け入れるため、専門的知識や技術を高める研修を実施します。



質の高いサービス提供を実現するための取り組み

通所介護事業所「光明の郷ケアセンター」において、科学的介護推進体制加算に係るフィードバックデータを機能訓練メニューや自立支援に向けたサービス提供により一層活用し、ご利用者の機能維持・向上につなげます。

重点項目

災害弱者及び障がい者への支援の拡充

令和4年度より、光明の郷ケアセンターと地域包括支援センターで参加している地区防災委員会を通して、独居高齢者や障がい者等の災害への対応が困難な方の地区防災訓練への参加をフォローします。また、障がい者向け「介護相談会」を箕面市、社会福祉協議会等と連携して開催し、制度にとらわれずに必要な社会資源に繋げるなど、地域共生社会の構築に取り組みます。



ステップアップ事業

ノーリフティングケアの完成と ICT 機器の活用

「全ご入居者の移乗方法の見直し」と「ノーリフティングケアの啓発」を挙げ、介護職員・機能訓練指導員等が中心となって、個別の移乗方法を確立します。また、揺れが少ないリフトを導入することで、安心・安全に移乗して頂くとともに、その他の福祉機器の有効活用も進めます。

達成目標

ノーリフティングケアについては、その必要性を全職員が理解することとし、ノーリフティングケアの理解度のチェックやリフト等の福祉機器の研修を行うことで身体的な負担を軽減します。併せて、腰痛に関するアンケートを年2回実施します。

令和4年度に全ご入居者に導入した眠りスキャンを活用し、全ご入居者の起床や入眠のタイミングなどの生活リズムのデータを科学的に把握したうえで24Hシートに反映させます。また、データを活用することにより、職員の負担軽減を図ります。

達成目標

データの根拠に基づき、全ご入居者の個別支援を充実させます。また、科学的根拠に基づき、夜間巡回業務についてもデータの活用により必要最小限の訪室とし、ご入居者の睡眠の質を高めるとともに、職員の業務負担軽減を図り、夜勤業務の負担による離職ゼロを目指します。

地域 公益事業

子どもらしく、私らしく生きるために ～ヤングケアラーへの支援～

地域包括支援センターや光明の郷ケアセンター、箕面市社会福祉協議会（ささえあいステーション）、民生委員等と連携してヤングケアラーの実態調査を実施し、現状のヤングケアラーの数を把握した上で、被介助対象者も含めた夕食弁当の配達を行います。併せて、訪問先での家事支援や相談などの支援を行い、ヤングケアラーへの支援体制を構築します。

取組効果

夕食弁当の配達による調理負担の軽減や訪問時の相談による悩みや不安の解消等、白島荘グループ全体で継続的に支援を行うことで、ヤングケアラーの介護負担の軽減等、心身のリフレッシュに繋がります。

実施事業一覧

- 特別養護老人ホーム白島荘(定員90名)
- 短期入所生活介護(定員10名)
- 白島荘グループホーム「華の家」(定員9名)
- 白島荘グループホーム「華の家」デイサービス(定員3名)
- 福祉有償運送(移動支援)
- 白島荘小規模多機能型居宅介護事業所「ひねもす」(定員27名)

- 白島荘訪問介護事業所「はくしまヘルパー」(居宅介護・重度訪問介護)
- 白島荘居宅介護支援事業所「はくしま」
- 白島荘診療所
- (箕面市委託事業)
- 箕面市東部地域包括支援センター

- 白島荘生活介護事業所「フレンドカラー」(定員20名)
- 箕面市立光明の郷ケアセンター(定員28名)
- 光明の郷相談支援センター「はくしま」
- 箕面市立光明の郷ケアセンター地域活動支援センター(定員10名)



東大阪養護老人ホーム

運営方針

ご入居者の自立を促し、自ら他のご入居者の日常生活を支援することができるようサポートします。

自立度の高いご入居者が他のご入居者へ自ら働きかけ、施設内の日常生活を支える立場となり、人から頼られる喜びを感じる生活が出来る生活を創造します。

重点項目

職員の働きがいを高め、成長を実感できる取り組みの推進

ご入居者が住み慣れた施設で最期まで安心して過ごせるよう、職員が終末期にすべきことを理解し、自信をもってサービス提供ができるようにします。

そのため、看取りプロジェクトチームを中心に、職員研修計画、マニュアル及びQ&Aの作成、実施後の事例検討を行い、養護老人ホームでの看取り体制を整えます。

地域における公益的な取り組みのより一層の推進

昨年度から開始した「鍵預かり事業」を拡充させ、高齢者のみならず、地域の一人暮らし住民の安否を地域住民と共に見守ります。

地域の自治会や老人会等と連携し、孤立する方がないよう見守りが必要な方にイベントを案内するなど、安心して生活ができる環境作りを行います。



ご入居者が主体的に他者に対して支援できるようになる

支援に関する研修を受講したご入居者を中心に介護予防事業でもある「つどいサービス」を自主的に、また協力しあいながら運営していきます。



達成目標 介護予防事業である「つどいサービス」を運営するとともに、東大阪市推奨の「らくらくトライ体操」の普及に努めます。



介護の基礎的な研修を終えたご入居者で「介援隊」を結成し、他のご入居者の生活を援助するとともに、地域での活動にも携わっていきます。

達成目標 ご入居者の社会的欲求・承認欲求を高めると共に、地域と施設の共生社会を推進します。

地域公益事業

地域における困りごとに対して施設資源の活用

「ここ家」(ながせのながや)での介護相談・健康相談会、健康体操を定期的に進めるとともに、活動を通じて参加者から地域での困りごと等の聞き取りを行い、解決に向け、施設をあげて対応していきます。

取組効果 地域の高齢者の健康寿命を延ばす機会を通じて、日常生活における困りごとを解決できるよう対応します。



実施事業一覧

- 東大阪養護老人ホーム(定員150名)
- デイサービスセンター「ふれあい」(定員18名)
- ケアプランセンター「ふれあい」
- ヘルパーステーション「ふれあい」(居宅介護・重度訪問介護事業含む)
- 東大阪養護老人ホーム診療所(東大阪市委託事業)
- 地域包括支援センター上小阪

その人らしく、
ここで…

施設別事業計画

8

永寿園とよなか



運営方針

地域と共に “わたしらしく生きる”

地域の中で自分らしく輝きながら暮らせるよう、関心はあるが地域活動に参加出来ない方も含めてきめ細やかなアプローチを行うことで、包括的な施設運営を展開します。

施設機能を最大限活用し世代間交流が図れる仕掛けづくりを行うことで、誰もが気軽に集える拠点づくりを定着させ、地域における社会資源としての役割強化を目指します。



重点項目

質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

生きがい活動における就労支援については既存のプログラムを発展させ、個々の得意分野や小集団での活動も視野に拡げていくことで、新たな活動の場を創出していきます。

特定施設入居者生活介護の人員にPTまたはOTの常勤を配置し、オンライン等を活用したご入居者向けのパワーアップ体操等を取り入れることでフレイルや認知症予防に繋がるリハビリを提供します。

高まる介護ニーズに中堅職員のリーダーシップが必要不可欠となっており、重度化への支援体制が柔軟に図られるよう、OJT やコーチング等の計画的な指導体制を確立します。

併設する特別養護老人ホームに介護技術等の実地研修を計画的に行うことで、養護老人ホームとしての在り方を見直しながら、相互連携を深め、施設全体のボトムアップへと繋がります。

出産・子育てというライフステージの中でも働き続けることが出来るよう、開園時間の延長や一時預かり保育を定着させ、保育事業のサービス充実と満足度向上を目指します。

園児たちへ情操教育の考え方を取り入れ、自然や文化に触れ合うことで、知的好奇心の醸成や「なぜ」と考える体験を多く積み重ね、心身の働きを豊かにすることを支えます。



実施事業一覧

- 豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか(定員70名)
- 地域密着型特別養護老人ホーム永寿園とよなか(定員29名)
- 短期入所生活介護(定員11名)
- 企業主導型保育えいじゅ・とよなか保育園(定員12名)
- 永寿園とよなか診療所



重点項目

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

眠りSCANを導入しご入居者の状態が可視化されることで客観的データの蓄積による分析・評価方法を確立させ、根拠に基づくケアの実践と得られた成果を対外的に発信します。

併せて、個々のご入居者に応じた支援が必要なタイミングで提供することで、介護の専門性を高めると共に職員の業務効率に繋げ、ケアの実践における相乗効果を生み出します。

外国介護人材の雇用促進のための取り組みの推進

国籍に関係なく介護を知る・触れる・学ぶを通して、福祉や介護の魅力を具体的にイメージでき、かつ働きたい職業として選んでもらえるよう育成プランの作成に取り組みます。

ステップアップ事業

子育て支援の強化と永寿園モデルの確立

保育の場、共有できる場、リフレッシュできる場の3つの柱を軸に独自の子育て支援を展開することで、地域の中で子育てをする意識の醸成と永寿園モデルの確立に取り組みます。

近隣の公園や散歩道も含めた保育活動域内でのワンオペ育児で悩んでいる方や公的支援に繋がっていない方へのアプローチを深め、育児による孤立・疲労感の軽減に繋がります。

達成目標

専業主婦や取り残された方でも一時的な保育をスムーズに利用できる体制を構築します。感染対策を講じながら地域住民や関係機関とタイアップしたイベントを開催します。

地域 公益事業

自分たちで創る ～暮らしやすい地域づくり～

既存の公開講座を子育て世代や親子でも参加できる内容へブラッシュアップさせることで、より多世代のニーズに即した内容となり、新たな“つどいの場”づくりを形成します。

地域住民や関係機関と共に防災意識を高めるべく、災害発生時の連携体制を取り決め、備蓄食の炊き出しや消防署を交えた救命訓練など、実践に即した共同防災訓練を行います。

取組効果

高齢者から子育て世代まで、地域生活の中で感じる“孤立・疎外感”からの脱却に繋がります。

自助・共助に基づいた防災意識の高い地域づくりを目指します。



施設別事業計画

地域とともに！

豊寿荘



運営方針

頑固なほどのポジティブ思考で関わる全ての人を豊かに

機器の活用、業務の見直しから徹底した効率化を図ります。
ご利用者、職員、地域にその成果を還元し、多角的で魅力的な施設を目指します。

重点項目

働きやすい環境づくりに向けた取り組みの推進

間接的業務と専門的業務の切り分けを行い、間接的業務については、スリム化もしくはオートメーション化に取り組みます。

職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

他部署へのジョブシャドウイング（職場体験）等を行い、職員の知見を広め、職種・部署間の相互理解を深めると共に、職員が自身のキャリアプランを考えるきっかけとします。

地域の課題解決力を高めるための取り組み

現在職員が実施しているアウトリーチの取り組みに、健康大学OBにも参加をしていただき、地域住民が地域に対しての活動が出来る地盤づくりをサポートします。



実施事業一覧

- 軽費老人ホーム（ケアハウス）豊寿荘（定員 100 名）
- 特別養護老人ホーム豊寿荘（定員 50 名）
- 短期入所生活介護（定員 10 名）
- 豊寿荘在宅介護支援事業所「ゆたか」
- 豊寿荘在宅介護支援事業所「ひがしまち」
- 豊寿荘在宅介護支援事業所「ねいろ」
- 豊寿荘在宅介護支援事業所「ひだまり」
- 豊寿荘訪問介護事業所「ゆたか」
（居宅介護・重度訪問介護・移動支援含む）
- 豊寿荘訪問介護事業所「ひがしまち」
（居宅介護・重度訪問介護・移動支援含む）
- 豊寿荘デイサービスセンター「ゆたか」（定員 40 名）
- 原田デイサービスセンター「ねいろ」（定員 45 名）
- 服部デイサービスセンター「かなで」（定員 45 名）
- 高川デイサービスセンター「ひだまり」（定員 45 名）
- 原田通所型デイサービスセンター「ゆい」（定員 10 名）
- 診療所「ゆたか」・訪問リハビリテーション
- はらだ保育園「ねいろ」（定員 19 名）
- 豊寿荘地域公益事業「あいあい」
- 福祉有償運送、豊中市高齢者外出支援「ほのぼの号」

- （豊中市委託事業）
- 原田介護予防センター（とよなか健康大学 原田校）
 - 服部介護予防センター（とよなか健康大学 服部校）
 - 千里介護予防センター（とよなか健康大学 千里校）
 - 柴原介護予防センター（とよなか健康大学 柴原校）
 - 庄内介護予防センター（とよなか健康大学 庄内校）
 - 高川介護予防センター（とよなか健康大学 高川校）
 - 豊中市原田シルバーハウジング生活援助員派遣事業
 - 豊中市服部シルバーハウジング生活援助員派遣事業

ステップアップ事業

フットケアで転倒予防、健康寿命の延伸

フレイル予防に加え、フットケアの充実に取り組みます。足病変からの歩行困難や、重篤化を防止することで、転倒事故件数削減に取り組みます。

達成目標 転倒による骨折事故前年比30%削減します。



根拠に基づいた自立支援の実践

機器を用い排泄に関するデータを集め、それらを根拠とし、排泄ケアを見直します。看取り期の変化についても情報を収集し、看取り期における対応の適切なあり方を見直していきます。

達成目標 機器を用いて収集したデータを根拠とし、適切な支援を実践しその効果について検証します。

地域公益事業

地域サポーター ゆたか



1回15分程度のサービス等で賄えない困りごとに対して職員等がご自宅に伺い支援をします。並行して施設外にその担い手づくりを行います。

取組効果 住み慣れた地域でより長く、生活できる地域の醸成に寄与します。

期間限定 子どもランチ

学校の長期休みで給食の無い期間も昼食を安価に食べることが出来る居場所を作ります。夏休み、冬休み、春休みの平日の実施を目指します。



取組効果 学校の長期休みの期間も食事を確保でき、子どもの発育に貢献します。



住み慣れた
地域と共に
生きる

施設別事業計画 10
万寿荘



運営方針

生活環境の改善と自立支援強化を目指します。

ご入居者が住み慣れた万寿荘で長く健康的な生活が送れるように、生活環境を改善していきます。また、個別に自立支援策を立て、長く幸せな生活が送れるようサポートしていきます。

重点項目

自立支援体制の強化

充実感や達成感を感じながら毎日を過ごすように、ご入居者本人の希望を引き出しながら体操や地域清掃などの地域交流を通じて、生活の中にその方にあった役割を見出し、より個別的な自立支援体制の強化を図ります。

大規模改修工事に向けた取り組み

住み慣れた場所で、より快適で健康的に生活できる環境を提供できるよう、基本設計及び実施設計を進めます。

新規事業の取り組み

令和4年度に検討した内容をより具体化し、万寿荘ご入居者、および地域にその機能が還元できる事業を計画します。



アクティブシニア健康体操教室の充実

ご入居者の平均的な身体評価を行い、トレーニング量を決定し、ご入居者同士楽しみながら、健康でいきいきとした生活が維持できるような体操教室を実施します。

達成目標

参加者が年齢に見合った平均的な身体評価レベルに達することができます。

専門的な講師の協力を外部に依頼し、高齢者に特化した体操ができます。



**買い物で広がる
支え合いと笑顔の輪**

近隣で買い物できる場所がなく困っている住人のため、週1回近隣スーパーに買い物送迎を行います。またニーズ調査から、さらに病院や銀行などへ送迎もして欲しいとの声にも応えていきます。

**地域
公益事業**

実施事業一覧

- 軽費老人ホーム万寿荘(定員50名)
- 池田市委託事業
- 池田市生活支援体制整備事業
- 池田市立敬老会館

いつまでも
自分らしく
いきいきと

施設別事業計画 11
河南荘



運営方針

地域のセーフティネットとしての役割を果たす

河南荘を必要な方に利用して頂くため、地域包括支援センター等への営業活動を通じて軽費老人ホームA型の役割を伝え、幅広く社会的支援の必要な方を積極的に受け入れます。当施設の存在を幅広く周知してもらうため、複数のSNSを活用し広報活動の強化を図り、ホームページの閲覧数の増加に繋げていきます。

重点項目

**就労支援を通して、
生きがい(やりがい)を高める**

現状の内職作業は、職員が全行程を管理しています。今後は、ご入居者の皆様を中心となり、作業の段取りや作業工程を工夫し、ご入居者の生きがい(やりがい)を高めます。

達成目標

納品までの段取りをご入居者だけで作業できる環境を構築します。1年を通じてご入居者延べ500名以上への軽作業の場を提供します。

**他法人や企業との連携・協働による
新たな取り組みの推進**

他の社会福祉法人(大阪府障害者福祉事業団)と連携し、河南荘のご入居者が施設外でも就労(芝刈り等の軽作業)できる機会を増やしていきます。

実施事業一覧

- 軽費老人ホーム河南荘(定員90名)
- 福祉有償運送

**地域
公益事業**

河南荘の存在価値を地域へ

地域の地区福祉委員会と連携し、河南荘職員・ご入居者で毎月1回、中学生の登校時における見守り活動に参加します。また、清掃等含め、地域の福祉活動に幅広く関わります。

社会福祉協議会と連携し、コロナ禍のため自宅で過ごすことが多くなった地域高齢者に対し、ウェブを活用し河南荘のご入居者と共に百歳体操を実施します。

取組効果

地域住民がより安心して暮らすことができる地域づくりに貢献します。社会福祉協議会と連携し、買い物等に支援が必要な地域高齢者を対象とした無償送迎を河南荘職員が行い、外出支援に繋がります。

この街で「暮らす」「働く」を応援します

みずほおおぞら



運営方針

地域生活支援拠点としての機能強化と先導的役割の追求

他機関、他事業所との連携による、緊急を要する困難事例に先導的役割として障がい者から高齢者まで、地域生活を面的に支えられるよう取り組みます。

重点項目

職員一人ひとりの力を高めるための取り組みの推進

書籍やインターネットからの知識だけではなく、現場職員が他法人での実地研修に計画的に参加し、専門的な知識を取り入れ、職員全体のスキルアップを目指します。

科学的根拠に基づいた介護の推進とケアの標準化

LIFE 等を活用し、アウトカムに関する情報等を分析・比較し、エビデンスに基づいた介護実践と蓄積されたデータに基づく PDCA サイクルの推進による好循環を実現し、自立支援や重度化防止等を進め質の高いサービス提供を行います。



災害用パン開発に向けての取り組み

頻発する災害への備えとして、災害用パンの製造、販売に向けて取り組みを行います。設備投資と販売ルート、採算性を分析し、計画的に実行します。

実施事業一覧

- 障がい者支援施設みずほおおぞら(施設入所) (定員21名)
- 障がい者支援施設みずほおおぞら(生活介護) (定員40名)
- 障がい者支援施設みずほおおぞら(就労継続支援B型) (定員25名)
- みずほおおぞら短期入所事業所 (定員10名)
- みずほおおぞら日中一時支援事業所 (定員10名)
- みずほおおぞら就労継続支援A型事業所 (定員10名)
- みずほおおぞら生活介護事業所みのり (定員40名)
- みずほおおぞら診療所
- 特別養護老人ホームみずほおおぞら(地域密着型特養) (定員29名)
- 特別養護老人ホームみずほおおぞら(短期入所生活介護・介護予防短期入所) (定員11名)
- みずほおおぞら相談支援事業所びすと (指定相談支援・一般相談支援・障がい児相談支援) (豊中市委託事業)
- 豊中市障害福祉センターひまわり施設運営管理
- 柴原障害者相談支援センター

ステップアップ事業

地域移行と定着に向けてひとり暮らしの実体験支援

「つながりルーム」を地域移行の社会資源として積極的に活用し、相談支援事業所やグループホーム等の障害福祉サービスと連携して、地域移行と定着を推進します。



達成目標 プレーン暮らしを2名のご利用者に体験して頂きます。

障害者・高齢者が共に生きる施設の確立

職員のインクルーシブ教育を進め、多様な障害特性に対応できる技術の向上を図ります。特養内での中間的就労の受け入れを検討するとともに、就労継続支援A型利用者等の一般就労にもつなげます。

達成目標 高齢の障害者や就労継続支援A型利用者の特養で受け入れ就労の場づくりの支援を行い、共生社会の一翼を担います。

地域公益事業

SDGsの取り組みを通してアウトリーチの取り組み

地域福祉プラットフォームとして、子供食堂をより一層充実させ、家庭に課題のある子供やひきこもりの方の交流と体験「つながり」を提供し、地域の「交流拠点と相談の場」を作ります。



取組効果

交流と体験を通じて、価値観を広げ、人生の選択肢を増やします。



共にかがやく！

かがやき



運営方針

老健の機能を活かし、かがやきリピーターを増やします

ご利用者の「家に帰りたい」という希望を叶えるため、入所・ショートステイ・通所リハビリを活用して在宅復帰・在宅復帰後の支援を充実させます。



重点項目

職員の働きがいを高め、成長を実感できる取り組みの推進

職種、部署の垣根を越えて「TEAMかがやき」PTを立ち上げ、老健協会や全事協での発表に積極的に応募し、取り組み成果を外部に発信することで、職員の働きがいを高めます。

質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

言語聴覚士と管理栄養士によるミールラウンドの内容を強化し、栄養改善、経口摂取維持への取り組みを推進します。

療養フロアにおいて認知症ケアの充実を図るため、事例検討会を毎月開催します。実践者研修修了者を計画的に増やします。

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

居宅介護支援事業所における、訪問時のアセスメントや評価、計画書等の同意について、タブレットの活用を推進し業務の効率化を図ります。

療養フロアにおいて、見守りカメラによる活動検知機能の活用評価を定期的に行いながら、改善点について業者と連携することで、さらなるご利用者の安心・安全を確保します。

音声入力による記録を推進し、パソコンの入力や記録の転記をなくすことで業務効率化を図ります。

地域の認知症高齢者の課題への取り組みの推進

認知症地域支援推進員を中心に地域の高齢者の認知症予防や地域で実施している「高齢者の見守りローラー作戦」を活用して軽度の認知症高齢者の早期発見、早期対応に取り組みます。

ステップアップ事業

在宅復帰支援、自立支援の強化

令和4年12月に開始したリハビリ特化型短時間サービスの事業を安定させるとともに、ご利用者の身心機能を「改善」できるリハビリテーションを提供します。



達成目標

デイケアにおいて、ご利用者が個別目標の達成に向けて主体的にリハビリに取り組めるよう最新のリハビリ機器を使ったリハビリプログラムを提供します。
AIアプリを使った歩行分析や体組成計による身体機能の測定により、リハビリ成果の見える化を図ることで、専門職による評価を充実させます。



かがやき内での連携だけでなく、法人内の在宅サービス等とも連携を図り、ご利用者の在宅復帰・在宅復帰後の支援を充実させます。

老健退所後に不安なく在宅生活が継続できるよう訪問リハビリテーションの実施を検討します。

達成目標

在宅復帰率を毎月50%以上を維持します。
訪問リハビリテーションの実施について、シミュレーション等を行い具体的な検討を進めます。

地域 公益事業

買い物送迎と若者の学習支援

地域からの強いご要望に応え買い物送迎をご自宅までの送迎とします。また、無料送迎バスが増便できるよう社協と連携し、他法人に参画していただくことができるよう働きかけます。
コロナ禍において実施が難しくなっている学生のボランティア体験の開催について、WEBを使った施設案内や介護体験、ご利用者と交流が持てるプログラムを企画し実施します。

取組効果

地域の困りごとに応えることでかがやきが地域において頼れる存在になることを目指します。



実施事業一覧

- 介護老人保健施設かがやき(定員100名)
- 短期入所療養介護
- 通所リハビリテーションかがやき(定員45名)
- 居宅介護支援事業所かがやき(豊中市委託事業)
- 柴原地域包括支援センター

新たな
介護人材の
発掘を目指す

施設別事業計画

14

OSJ 人材育成センター

運営方針

将来にわたる介護人材育成プログラム実現に向けて

「OSJ 日本語アカデミーとよなか」から「OSJ とよなかケアスクール」へと渡る人材育成プログラム体系を完成させ、また一貫した受け入れ支援体制を完成させます。

重点項目

外国介護人材の雇用促進のための取り組みの推進

外国人労働者との共生にむけ、OSJ 日本語アカデミーとよなかの留学生が介護現場に溶け込めるよう就労支援や日常生活のサポートを実施します。

「地域からの雇用」を重視した人材確保のための取り組みの推進

介護福祉士養成校として地域向け就労開発プログラムを行政と協働で開催するほか、国家試験に対する受験対策を事業所に向け開催します。

OSJ 日本語アカデミーとよなか



ステップアップ事業

特定技能登録支援機関としての取り組みの充実

登録支援機関として受け入れ手順を充実します。
有料職業紹介事業受託のうえ、派遣先を拡充します。

達成目標 他法人への斡旋と契約を実施します。

介護福祉士養成施設における専修学校化への申請

専修学校として、令和5年度中の申請を実施します。

達成目標 令和6年4月の新規開校を目指します。



OSJ とよなかケアスクール



実施事業一覧

- OSJとよなかケアスクール(豊中市内人材育成事業)
- OSJ日本語アカデミーとよなか
- 外国人雇用推進事業



事務局

運営方針

組織を支える人材の定着・育成と戦略的な業務推進策の実施

法人職員の定着及び育成に向けた新たな取り組みの推進を行うとともに、次期トリプル報酬改定も見据えた新たな業務推進策を実施することで、組織としての優位性を高めていきます。

重点項目

健康経営優良法人の認証取得

前年度より取組を進めてきた職場環境等の改善結果を法人内外に示すとともに、健康経営優良法人の認証取得を目指します。

ICT化の推進による業務効率化の促進

更なるご利用者サービスの向上と職員の業務負担軽減のため、すでに導入している機器の評価を行ったうえでICT化と介護ロボットの導入を推進します。平行して、前年度に事務局内業務効率化を目的に導入したPRA (Robotic Process Automation) の施設間展開を進めます。

次期報酬改定を見据えた、LIFE フィードバック情報等の活用強化

2024年の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定に備え、今後、ますますサービス提供に伴うアウトカム評価内容が重要視される可能性が高いため、LIFE (科学的介護情報システム) のフィードバック情報の活用方法を含めたサービス提供におけるデータ分析及びその活用方法について具体的な試行を進めます。

働きやすい環境づくりに向けた取り組みの推進

法人内で職員が副業として業務委託 (公募制) できる制度を創設し安定運用することで、職員の知見・技能の発揮機会を提供し、職員の能力開発及び職員の定着・確保につなげます。
職員面談の確実な実施と、ストレスチェック結果から職場改善につなげる為の分析～改善までの具体的取組を実施することによる職員のメンタルヘルスケアの向上に取り組めます。

経理事務職員の人材育成

法人内で経理事務を主に担う職員の育成、定着を目的とした基本マニュアルの作成及び、人材育成プログラムを構築することで、次代の経理事務職員を養成します。

重点項目

より活用しやすい人材育成プログラムの構築

外国人を含め多様な採用者が円滑に業務を担えるようになるための現在の人材育成プログラムをリニューアルするとともに、各施設で適切に運用できるようにマネジメントします。

ラダー教育システムによる段階に応じた職員教育場面の確立

ラダー教育システムの導入と運用に向けての取り組みを進めるとともに、それぞれの、階層に見合った適切な研修体系の構築に取り組みます。

【よりそいの丘プロジェクト推進室】 他法人や企業との連携・協働による新たな取り組みの推進

プロジェクトでは、産官学連携を図りながら各々の存在価値を高めることとしている為、工場や大学とコラボ商品を作るなど、プロジェクトの賛同者を増やし、協働して計画を充実させます。

世代を超えて誰もが楽しく継続できるような「新・ゆるスポーツ」を近隣大学と協働開発します。開発にはご利用者が加わり参加の効果を検証し、実践報告で広く周知します。

【就労継続支援事業】 他法人や企業との連携・協働による新たな取り組みの推進

就労継続支援事業では、支援学校と協働で「実習受け入れモデルケース」及び「視覚障がい者対応型ピクトグラム」を構築し、活用してもらうことで、事業所の存在価値を高めます。



働きやすい環境づくりに向けた取り組みの推進

敷地内の樹木・建物・設備関係の老朽化、不具合の整備を行い環境を整えます。職員が気持ち良く働き、ご利用者が気持ち良く利用し、地域の方々が足を運びたくなる施設にします。

Wi-Fi環境の強化と共に、DX化の推進を図ります。職員のみならず、ご利用者、ご家族が馴染みのあるアプリを用いての、情報共有のメインツールとして運用を開始します。



地域における公益的な取り組みのより一層の推進

引きこもりの方など制度のはざままで社会から孤立している方を対象に、就労継続支援事業で培ったノウハウを生かし、中間的就労の機会を設けることで社会復帰につなげる取り組みを進めます。



実施事業一覧

- OSJ工房よりそいの丘
 - 就労継続支援 A 型 (10名)
 - 就労継続支援 B 型 (20名)
 - 特定相談支援
 - 障がい児相談支援
 - 委託相談支援事業
- OSJ研修・研究センター (大阪府指定)
 - 相談支援従事者研修
 - サービス管理責任者等基礎研修
 - 福祉サービス第三者評価調査者研修 (堺市受託事業)
 - 認知症介護実践者研修

施設別事業計画

施設別事業計画

年間研修計画 [研修センター主催・施設主催]

■ 入職1年目職員

研修名	対象職員	研修内容	開催月
集合研修	新年度採用職員	法人理念・人権・接遇・緊急時対応・感染予防・認知症ケア・障がいの理解・基本介護技術等	令和4年度末 (令和5年3月初旬)
採用後交流研修	新年度採用職員	同期間の交流を通じて、課題の克服、合意形成等を学ぶ	6・9・12・2月
リスクマネジメント研修	新規採用職員	介護事故等リスクの回避と対応	6月
感染症対策研修	新規採用職員	感染対策について	9月
看取り研修	新規採用職員	看取りの意味と対応、心の持ち方などを学ぶ	12月
OJT研修	新規採用職員	OJTの基本について	2月
採用前・採用時研修	年度途中採用職員	法人理念・人権・接遇・緊急時対応・感染予防・認知症ケア・障がいの理解・基本介護技術等	入職後随時

■ 2～3年目職員

研修名	対象職員	研修内容	開催月
メンタルヘルス(セルフケア)研修		ストレスへの気づき、対処方法について	6月
リスクマネジメント研修		介護事故等リスクの回避と対応	8月
苦情対応研修		苦情発生のメカニズム、苦情対応の原則、苦情に至らないための取組	8月
法人内他施設研修		法人内の他施設の同業種を体験する	9・10月
OJT研修(基礎編)		OJTの理解と実践	10月
アンガーマネジメント研修		感情のコントロールについて理解する	11月

■ 4年目以降職員

研修名	対象職員	研修内容	開催月
メンタルヘルス(セルフケア)研修		ストレスへの気づき、対処方法について	6月
リスクマネジメント研修		介護事故等リスクの回避と対応	8月
苦情対応研修		苦情発生のメカニズム、苦情対応の原則、苦情に至らないための取組	8月
法人内他施設研修		法人内の他施設の同業種を体験する	9・10月
OJT研修(基礎編)		OJTの理解と実践	10月
アンガーマネジメント研修		感情のコントロールについて理解する	11月
リーダーシップ研修		リーダーの役割の理解について	1月

■ 主任『指導職研修』

研修名	対象職員	研修内容	開催月
主任昇任者研修	主任昇任者	指導職としての役割、管理業務などを学ぶ	4月
メンタルヘルス(ラインケア)研修		ラインケアの基本について	7月
人事考課者研修(2回)	主任昇任者	職員評価制度における考課の視点、中間面接及びフィードバックの方法	8・12月
ITリテラシー向上研修		ITリテラシーの基本について	12月
リスクマネジメント研修		災害時の施設管理及び事業継続	1月
OJT研修(実践編)		OJTの理解と実践	

■ 総括主任『管理・指導職研修』

研修名	対象職員	開催月
メンタルヘルス(ラインケア)研修	ラインケアの基本について	7月
ハラスメント研修	職場のハラスメント防止	11月
リスクマネジメント研修	災害時の施設管理及び事業継続	12月

■ 科長『管理職研修』

研修名	対象職員	開催月
メンタルヘルス(ラインケア)研修	ラインケアの基本について	7月
ティーチング・コーチング研修	ティーチング・コーチングについて	10月
コミュニケーションスキル研修	管理職としてのコミュニケーションについて	11月
財務管理研修	財務管理に関する知識と役割について	12月
ハラスメント研修	職場のハラスメント防止	
リスクマネジメント研修	災害時の施設管理及び事業継続	

■ 受験対策セミナー

研修名	対象職員	開催月
介護支援専門員受験対策セミナー	受験予定者	6月・7月・8月
介護福祉士受験対策セミナー		9月・10月・11月・12月
介護福祉士受験直前対策セミナー		12月・1月

■ 専門職等研修

研修名	対象職員	開催月
専門職種会議で必要とされる研修	各専門職種	専門職種会議で決定

■ 施設主催

研修名	対象職員	開催月
OJT研修・フォローアップ研修	新規採用職員	随時
基本研修	全職員	人権研修
		接遇研修
		個人情報研修
		感染症および食中毒対策研修
		リスクマネジメント研修
		苦情対応研修
		認知症・認知症ケア研修 / 障がいの理解・障がい特性
推奨研修	全職員	アンガーマネジメント研修
		ハラスメント研修
		リスクマネジメント研修
		腰痛予防研修
事業所別研修	全職員	メンタルヘルス(セルフケア)研修
		看取り研修

事業別実施目標

■ 特別養護老人ホーム・短期入所

施設名	特養	短期入所	特養 目標利用率	短期入所 目標利用率(介護・障がい)	計 目標利用率
特別養護老人ホーム美原荘	特養120名	短期20名	96.9%	111.4%	99.1%
特別養護老人ホーム美原荘「すここの郷」	特養29名	短期10名	97.7%	104.6%	99.5%
特別養護老人ホーム春日丘荘	特養120名	短期12名	93.4%	157.9%	99.2%
特別養護老人ホーム春日丘荘「彩の家」	特養29名	短期11名	95.5%	113.7%	100.5%
特別養護老人ホーム四條畷荘	特養120名	短期10名	96.0%	133.7%	99.7%
特別養護老人ホーム光明荘	特養120名	短期20名	94.0%	129.6%	99.1%
特別養護老人ホーム高槻荘	特養100名	短期10名	96.0%	128.4%	99.3%
特別養護老人ホーム白鳥荘	特養90名	短期10名	95.6%	137.2%	99.9%
特別養護老人ホーム豊寿荘	特養50名	短期10名	98.0%	116.4%	101.1%
特別養護老人ホーム永寿園とよなか	特養29名	短期11名	97.8%	108.0%	100.6%
特別養護老人ホームみずほおおぞら	特養29名	短期11名	99.1%	103.0%	100.1%

■ 老人保健施設

施設名	老健	短期療養	老健 目標利用率	短期療養 目標利用率	計 目標利用率
老人保健施設かがやき	老健95名	短期5名	91.7%	153.1%	94.8%

■ 養護老人ホーム

施設名	種別	定員	目標利用率
東大阪養護老人ホーム	一般	80	98.3%
	特定	70	91.7%
	合計	150	95.0%
養護老人ホーム四條畷荘	一般	30	99.1%
	特定	20	95.3%
	合計	50	97.2%
豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか	一般	40	95.2%
	特定	30	96.2%
	合計	70	95.7%

■ 軽費老人ホーム

施設名	種別	定員	目標利用率
軽費老人ホーム(ケアハウス)和風荘	一般	40	97.5%
	特定	30	97.1%
	合計	70	97.3%
軽費老人ホーム(ケアハウス)豊寿荘	一般	50	97.5%
	特定	50	97.6%
	合計	100	97.6%
軽費老人ホーム万寿荘		50	97.0%
軽費老人ホーム河南荘		90	96.5%

■ 施設入所支援(障がい)

施設名	種別	定員	目標利用率
みずほおおぞら		21	97.2%

■ 通所介護(通所リハ含む)

施設名	目標延利用人数				目標利用率	
	介護	通所型	障がい	合計		
美原荘デイサービスセンター	42名	10,295	1,225	11,520	88.5%	
春日丘荘デイサービスセンター	40名	10,027	608	10,635	84.9%	
沢池デイサービスセンター	月曜日～土曜日45名 日曜日30名	12,450	1,320	13,770	89.5%	
南茨木デイサービスセンター	月曜日～土曜日45名 日曜日30名	13,095	997	14,092	89.9%	
四條畷荘デイサービスセンター「ほほえみ」	35名	9,262	578	9,840	85.4%	
光明荘デイサービスセンター	35名	8,142	372	1,264	9,778	86.7%
高槻荘郡家デイサービスセンター	40名	9,641	1,236	10,877	88.0%	
箕面市立光明の郷ケアセンター	28名	7,129	380	132	7,641	88.1%
デイサービスセンター「ふれあい」	18名	3,591	0	3,591	77.0%	
豊寿荘老人デイサービスセンター「ゆたか」	月曜日～金曜日38名 土曜日20名	10,212	960	11,172	90.1%	
原田デイサービスセンター「ねいろ」	45名	11,282	977	12,259	87.9%	
服部デイサービスセンター「かなで」	45名	11,478	528	12,006	86.1%	
高川デイサービスセンター「ひだまり」	45名	10,596	1,194	11,790	84.5%	
デイサービスセンター春日丘荘「彩の家」	8名	2,136	0	2,136	86.1%	
高槻荘やすらぎデイサービスセンター	12名	3,268	0	3,268	88.1%	
かがやき通所リハビリテーション	45名	8,013	1,041	9,054	88.5%	